

平成23年度(2)

県政モニター アンケート報告書

テーマ「インターネット利用に関して」

平成23年10月

も く じ

調査の概要	1
-------------	---

調査結果

1 県民のインターネット利用実態等に関して	3
2 県民のサイバー犯罪に対する意識について	9
3 サイバー犯罪に対する警察等の取組等に関する認識について	15
4 県民のインターネットカフェ等に対する意識について	19
5 自由意見	26

質問と回答	33
-------------	----

調査の概要

1 調査のテーマ

インターネット利用に関して

2 調査の趣旨

インターネット空間においては、匿名性が高いことから利用者の規範意識が必ずしも高いとはいえ、各種のトラブルや違法情報、有害情報が氾濫しています。このためインターネット空間におけるマナー向上や正しい知識に基づくルール等の啓発をさらに強化していく必要があります。

また、インターネットの普及に伴い、架空請求や迷惑メールなど情報技術を悪用した被害や相談も増加してきています。

このような中、愛知県警察では、児童や保護者、県民を対象としたサイバー犯罪防止講話等各種対策を実施しているところではありますが、より実効の上がる活動を展開させ、県民のサイバー空間に対する関心度やサイバー犯罪被害を減少させるうえで必要な施策等について調査するため、県政モニターの皆様にご意見をお聞きしました。

3 調査対象

県政モニター 496人 (平成23年7月20日現在)

内訳

区 分	計		名古屋地域	尾張地域	三河地域	
	人 員	構 成 比				
総 数	496人	100.0%	155人	188人	153人	
性 別	男 性	248	50.0	76	92	80
	女 性	248	50.0	79	96	73
年 代 別	20 代	77	15.5	27	26	24
	30 代	100	20.2	29	37	34
	40 代	88	17.7	28	33	27
	50 代	74	14.9	19	29	26
	60 代 以上	157	31.7	52	63	42

4 調査期間

平成23年7月1日から平成23年7月20日まで

5 調査方法

郵送・インターネット (選択)

6 回答者数

488人（回収率98.4%）

【記号・符号・用語の説明】

- (1) N (Number of Cases の略) は比例算出の基数であり、100%が何人の回答者に相当するかを示す。
- (2) M. T. (Multiple Total) は複数回答を認める質問に対する回答の比率の合計を示す。(無回答者の数値は含まない。)
- (3) 回答が1つの質問であっても、小数第2位を四捨五入して割合を求めているため、合計が100%にならないことがある。

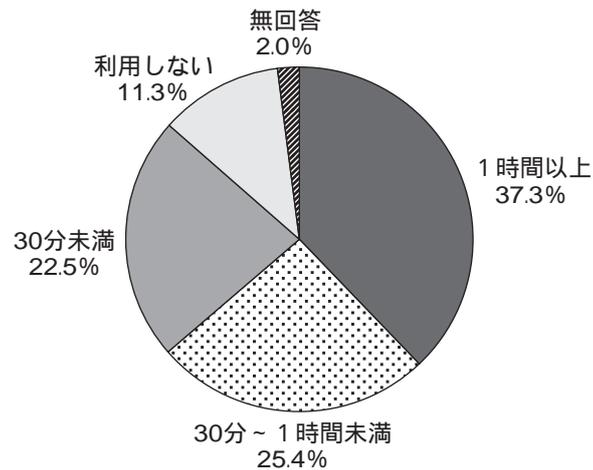
調査結果

1 県民のインターネット利用実態等に関して

問1 パソコンや携帯電話からインターネットに接続する時間は、1日平均どれくらいですか。

(回答は1つ)

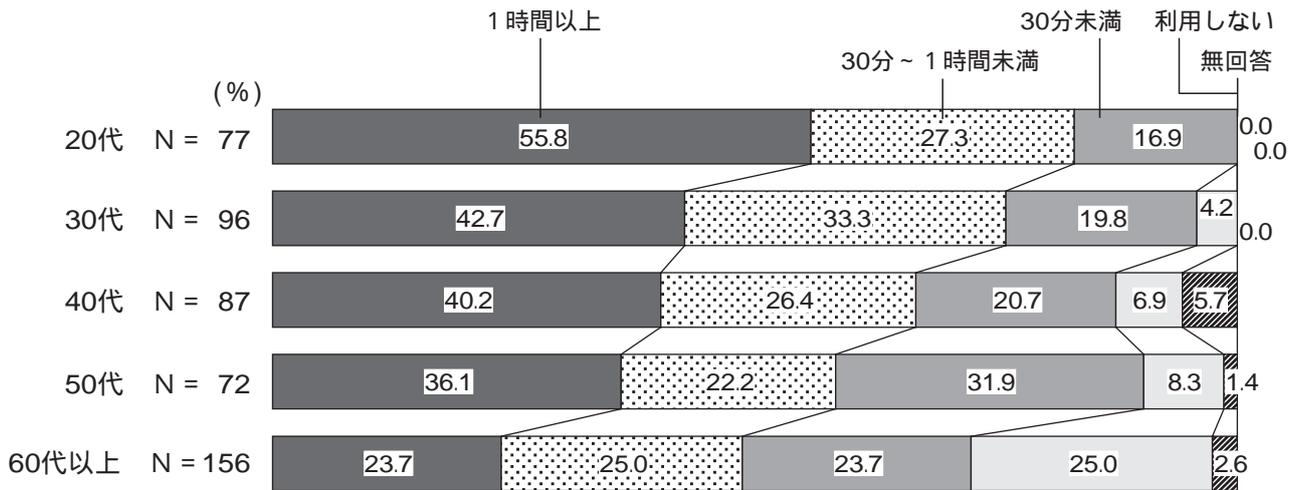
N = 488



パソコンや携帯電話から1日平均どれくらいインターネットに接続するか尋ねたところ、「1時間以上」が37.3%、「30分～1時間未満」が25.4%、「30分未満」が22.5%、「利用しない」が11.3%などとなっている。

年代別にみると、「利用しない」と答えた人の割合は、年代が上がるほど高く、利用時間は若い年代ほど長くなっている。

(年代別)



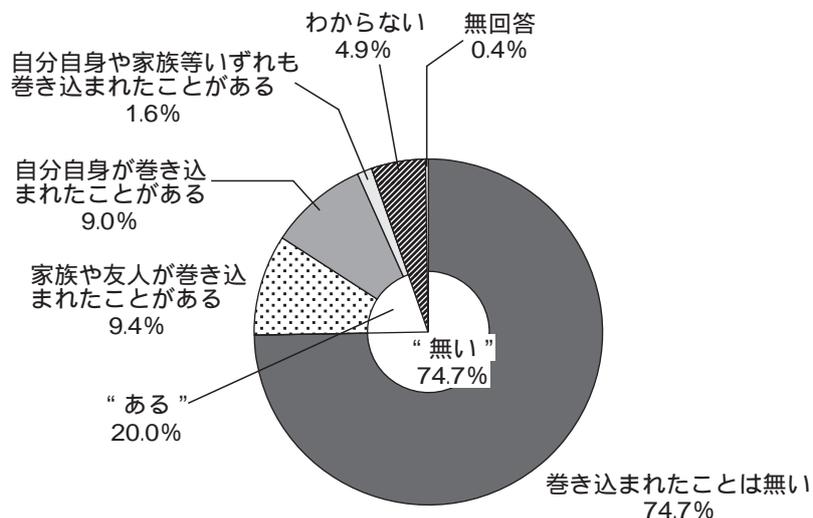
インターネットについては86.7%が利用しており、世代別に見ますと、特に20代は利用率が100%であり一日の利用時間も1時間以上が55.8%となっております。

インターネットは日常生活の一部となっており、特に若い世代におけるサイバー空間に対するモラル向上が求められます。

(愛知県警察本部生活安全部生活安全総務課)

問2 これまでに、あなたやあなたの家族、友人等が、インターネットを利用した犯罪やトラブルに巻き込まれたことはありますか。(回答は1つ)

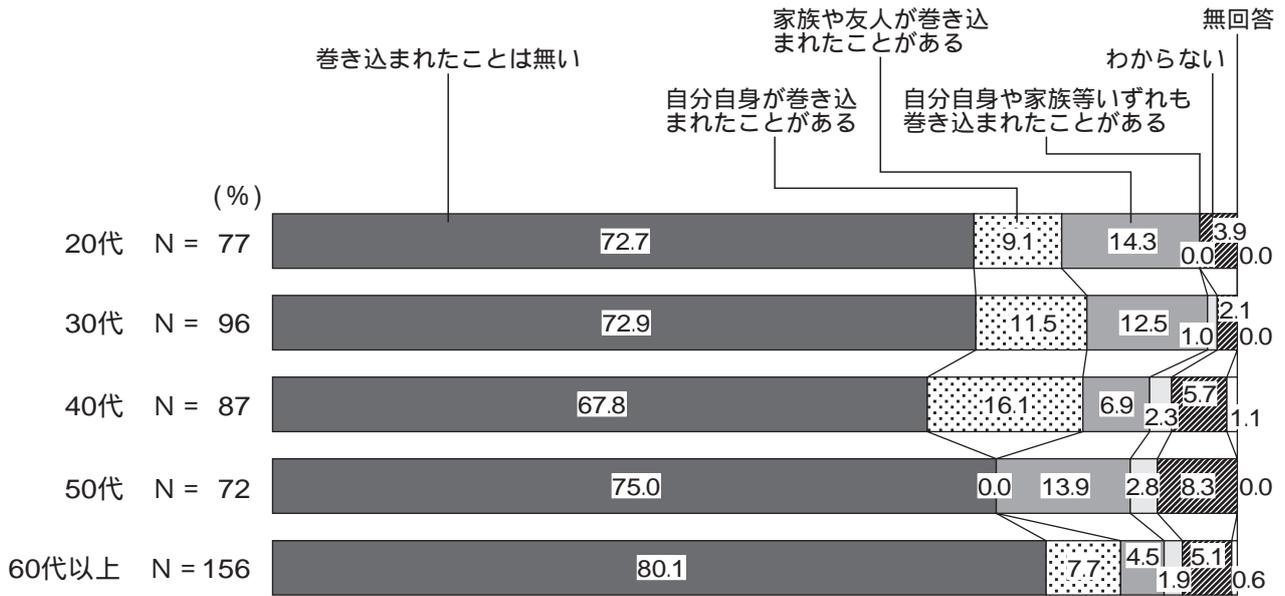
N = 488



これまでに、インターネットを利用した犯罪やトラブルに巻き込まれたことはあるか尋ねたところ、「巻き込まれたことは無い」が74.7%に対し、「家族や友人が巻き込まれたことがある」が9.4%、「自分自身が巻き込まれたことがある」が9.0%、「自分自身や家族等いずれも巻き込まれたことがある」が1.6%で、合わせた“ある”が20.0%となっている。

年代別にみると、「巻き込まれたことは無い」と答えた人の割合は、60代以上で高く、“ある”と答えた人の割合は、20代、30代及び40代で高くなっている。

(年代別)



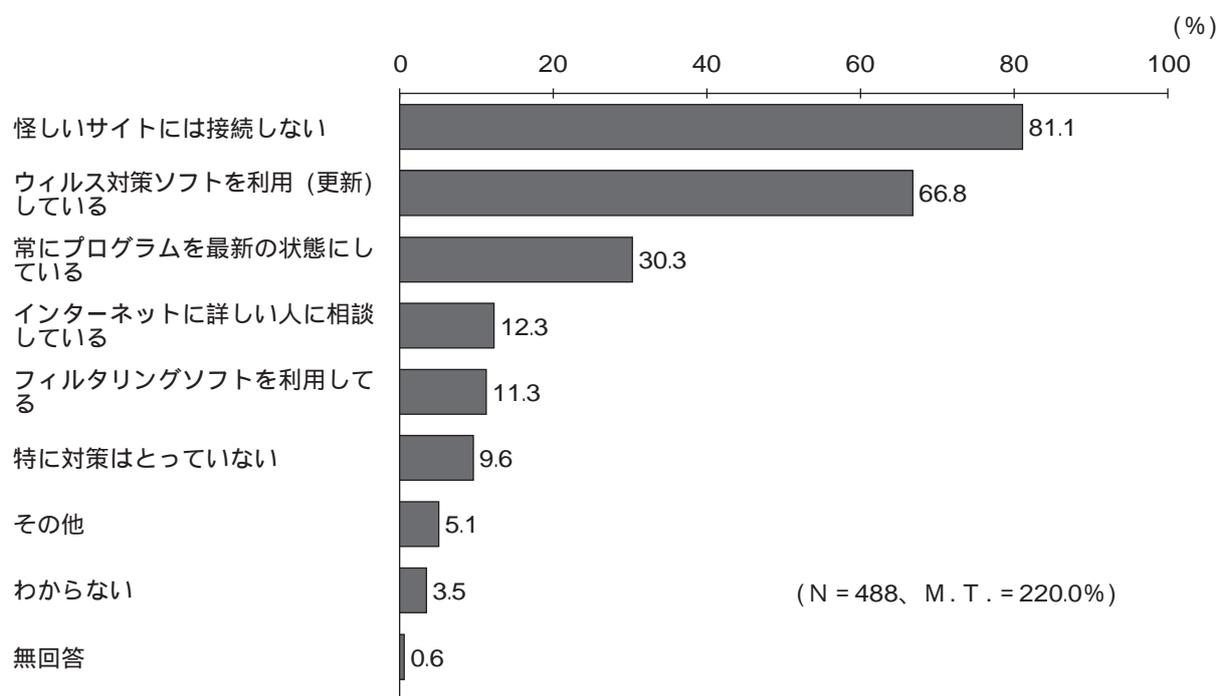
74.7%の人がインターネットを利用した犯罪やトラブルに巻き込まれたことはないと回答しているものの、家族や友人まで含めると20.0%の人がトラブルに巻き込まれたことがあると回答しています。

愛知県警察では、本年2月に、政府が定めた「情報セキュリティ月間」に合わせ、名古屋市東区にあるオアシス21/銀河の広場にて「AICHI POLICE ふれ愛フェスタ2011」を開催し、コミュニティサイトを利用した被害が増加していることに対する注意喚起や架空・不当請求等の手口等に関する対策の啓発活動を実施しました。今後も、サイバー犯罪等の危険性について広く県民の方々に対する広報啓発活動を推進していきます。

(愛知県警察本部生活安全部生活安全総務課)

問3 インターネットを利用した犯罪の被害に遭わないためにはどのような対策をとっていますか。

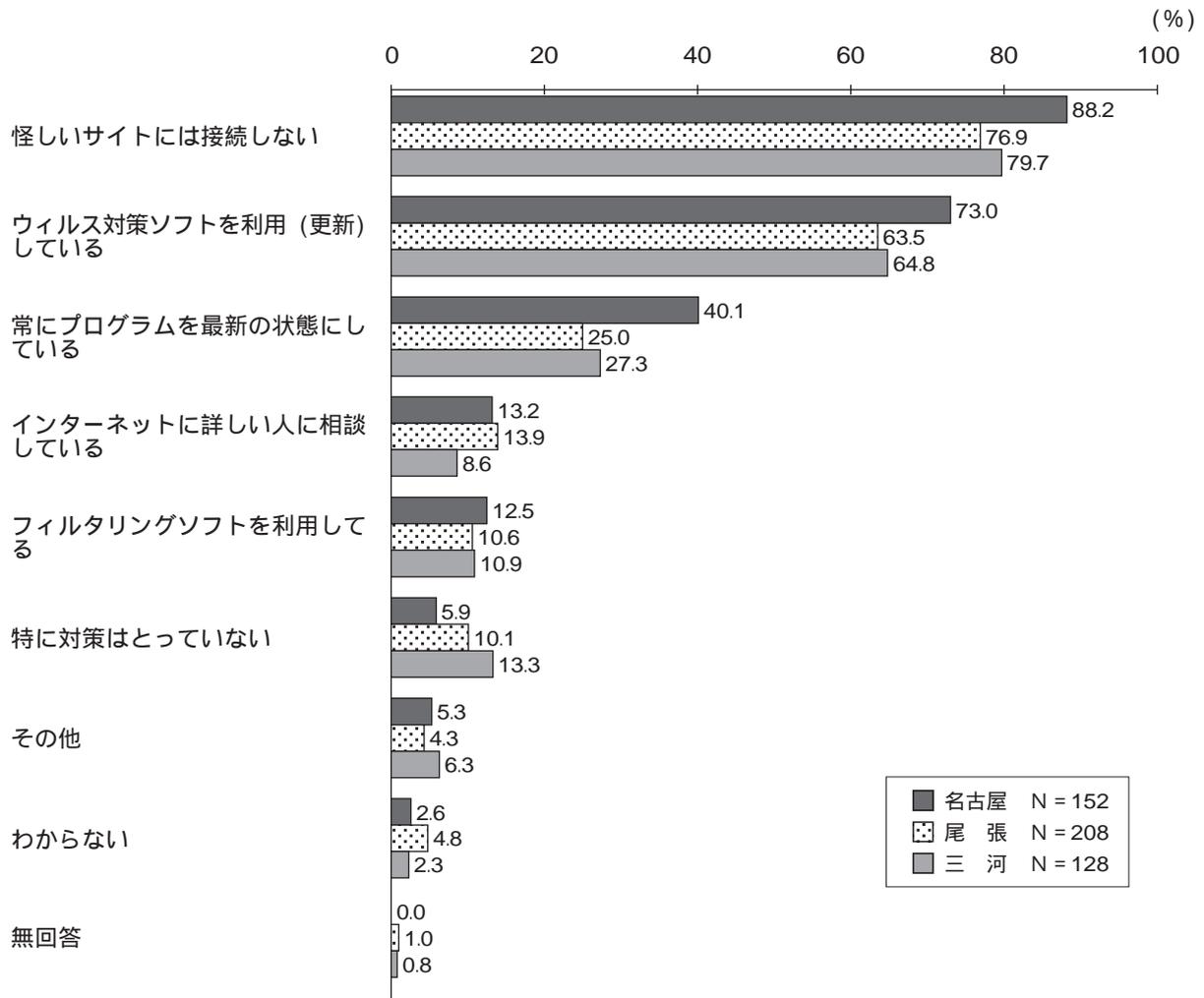
(回答はいくつでも)



インターネットを利用した犯罪の被害に遭わないためにはどのような対策をとっているか尋ねたところ、「怪しいサイトには接続しない」81.1%、「ウイルス対策ソフトを利用 (更新) している」66.8%、「常にプログラムを最新の状態にしている」30.3%、「インターネットに詳しい人に相談している」12.3%などとなっている。

地域別にみると、「怪しいサイトには接続しない」を始め何らかの対策をとっていると答えた人の割合は、名古屋地域で高かったが、「特に対策はとっていない」と答えた人の割合は、三河地域で高くなっている。

(地域別)



ウイルス対策ソフトの利用率は66.8%とまだまだ低く、また、特に対策をとっていない人が9.6%もありました。

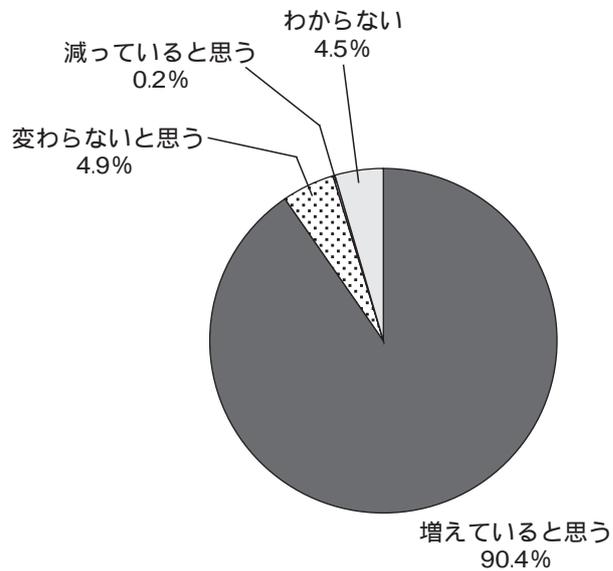
愛知県警察では、県内の小・中学校及び高等学校等のほか、企業や地域のコミュニティセンターに警察官等を派遣し、プレゼンテーションやビデオを活用したサイバー犯罪防止に関する講話活動を実施しております。アンケート結果を踏まえ、講話活動の場において、県民の方々にサイバー犯罪の危険性やウイルス対策ソフトの重要性等の周知を図っていきます。

(愛知県警察本部生活安全部生活安全総務課)

2 県民のサイバー犯罪に対する意識について

問4 インターネットを利用した犯罪は、年々増えていると思いますか。(回答は1つ)

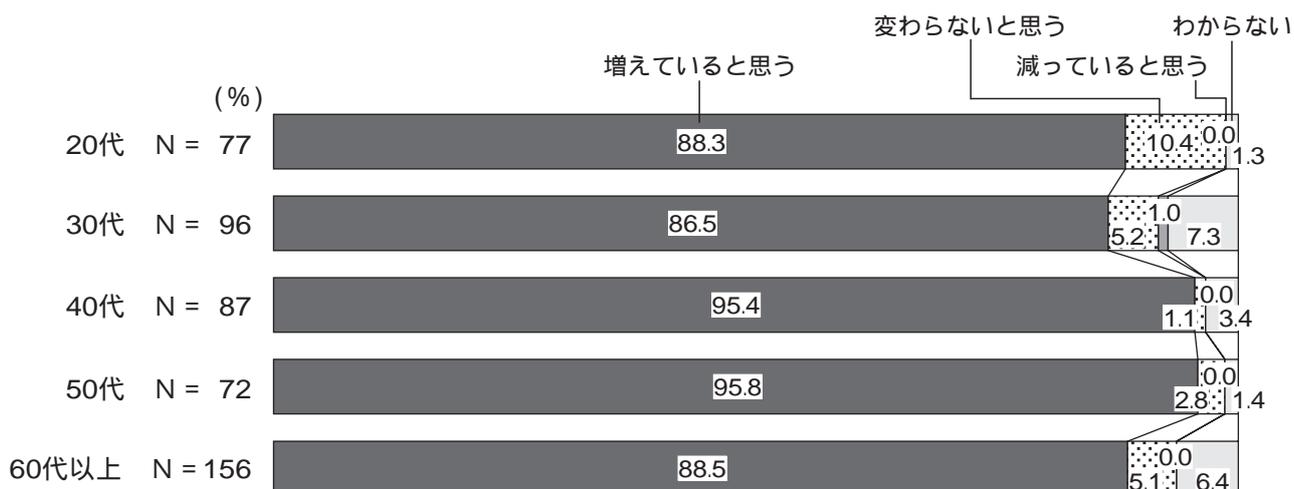
N = 488



インターネットを利用した犯罪は、年々増えていると思うかを尋ねたところ、「増えていると思う」90.4%、「変わらないと思う」4.9%、「減っていると思う」0.2%で、大多数の人が増えていると感じている。

年代別にみると、どの年代も「増えていると思う」と答えた人の割合は高く、中でも40代、50代で高く、その他の年代では「変わらないと思う」と答えた人の割合が比較的高くなっている。

(年代別)



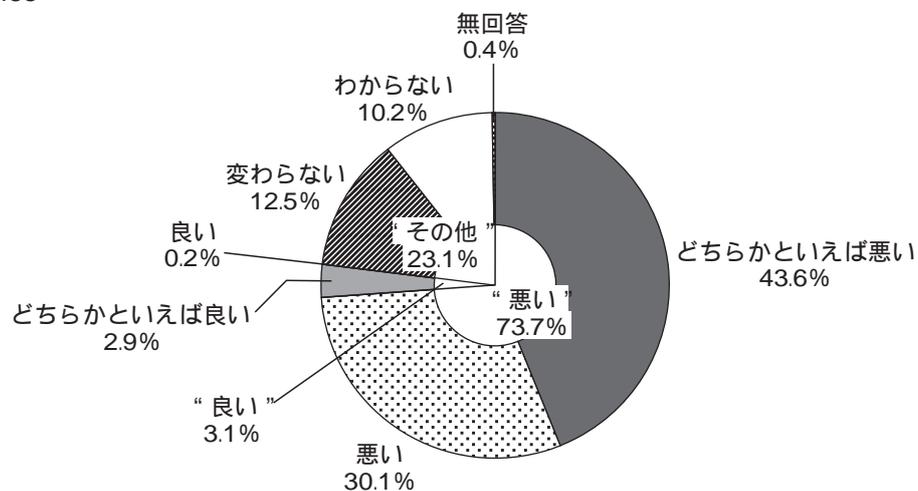
インターネットを利用した犯罪が増えていると思うと回答された方の割合が90.4%にのぼり、多くの県民の方々がサイバー空間における犯罪の増加を認識していることがうかがわれます。

愛知県警では今年の4月、生活安全総務課サイバー犯罪対策室にサイバー犯罪捜査を専門に行う専従検挙班を新設し、サイバー犯罪の取締り強化を図っており、サイバー空間における治安維持を推進しています。

(愛知県警察本部生活安全部生活安全総務課)

問5 インターネットへの書き込み等の利用者のモラル（マナー）は現実社会と比べて、どのように感じますか。（回答は1つ）

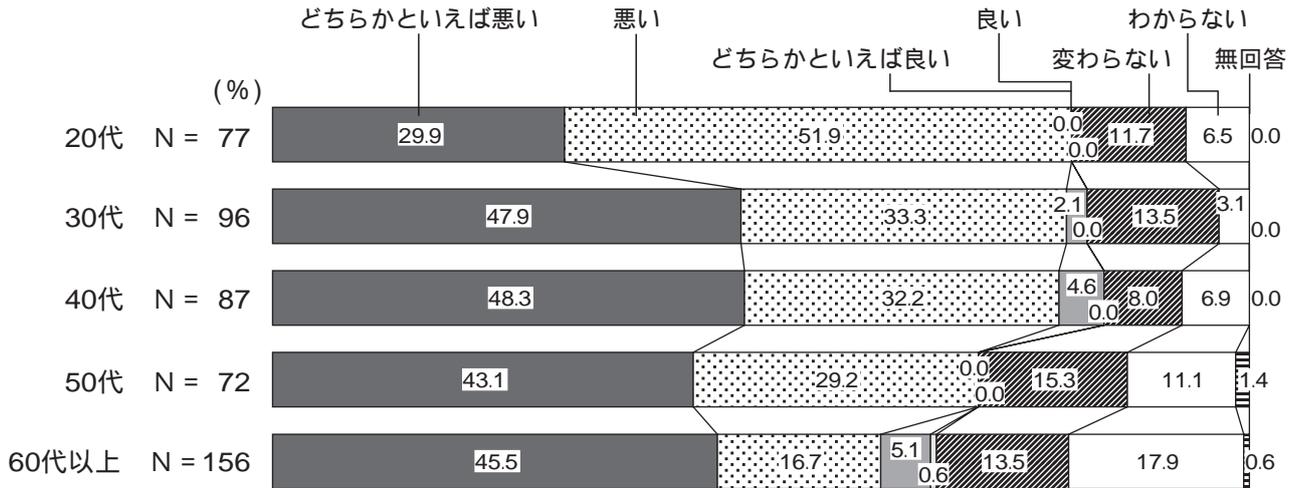
N = 488



インターネットへの書き込み等の利用者のモラル（マナー）は現実社会と比べて、どのように感じているかを尋ねたところ、「どちらかといえば悪い」43.6%、「悪い」30.1%で、合わせた“悪い”が73.7%に対し、「良い」0.2%、「どちらかといえば良い」2.9%で、合わせた“良い”が3.1%となっている。

年代別にみると、“悪い”と答えた人の割合は、若い年代ほど高く、20代、50代で“良い”と答えた人はいなかった。

(年代別)

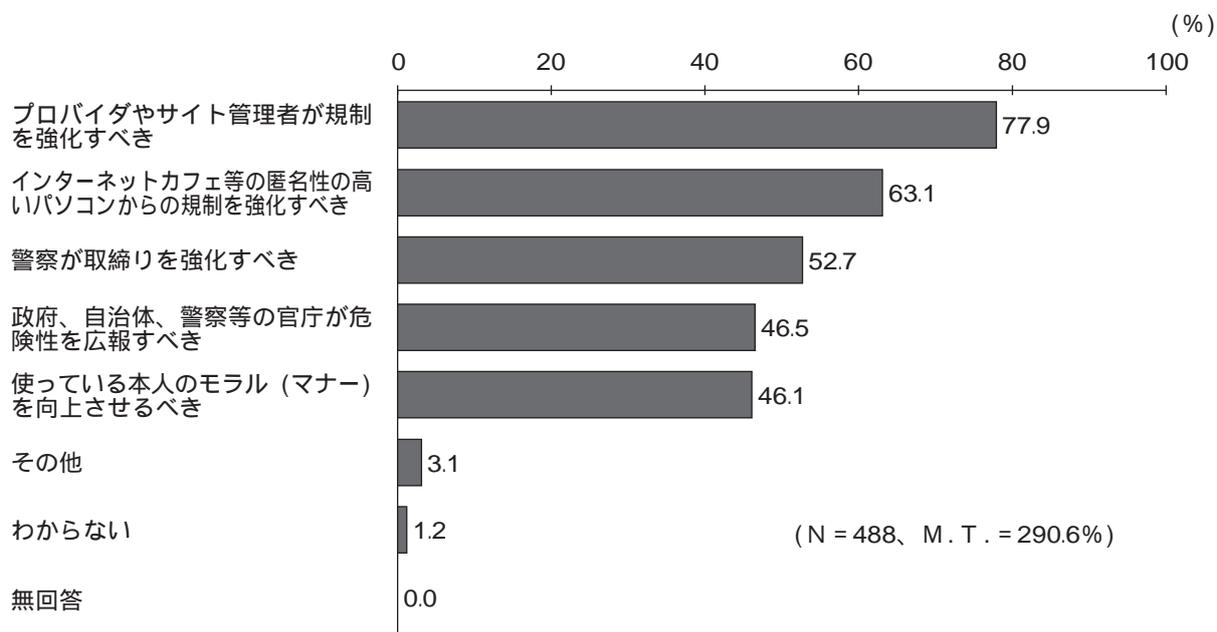


インターネットへの書き込み等の利用者のモラル（マナー）が現実社会と比べて“悪い”と回答された方の割合が73.7%にのぼり、県民の方々がサイバー空間における規範意識の低下について認識していることがうかがわれます。

愛知県警察では、県内の小・中学校及び高等学校等に対し「サイバー犯罪防止講話」の場において教育機関と連携を図りながら、青少年に対して早い段階からの情報モラル（マナー）の徹底を図っていきます。

(愛知県警察本部生活安全部生活安全総務課)

問6 インターネット上で児童ポルノ画像等の違法情報が氾濫していると言われていますが、その有効な対策は何だと思えますか。(回答はいくつでも)

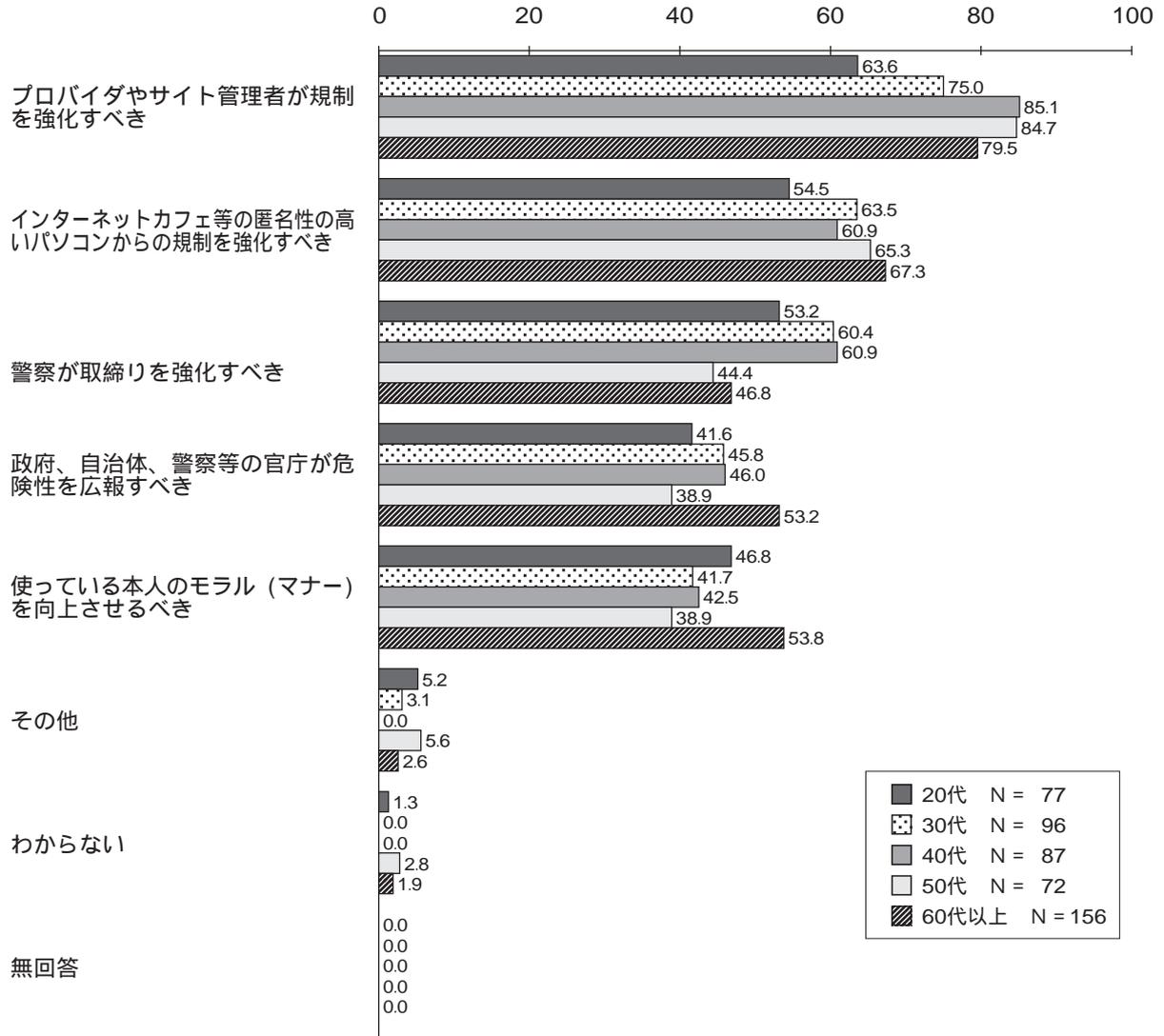


インターネット上で児童ポルノ画像等の違法情報が氾濫していることについて、その有効な対策は何だと思えるかを尋ねたところ、「プロバイダやサイト管理者が規制を強化すべき」が77.9%、「インターネットカフェ等の匿名性の高いパソコンからの規制を強化すべき」が63.1%、「警察が取締りを強化すべき」が52.7%、「政府、自治体、警察等の官庁が危険性を広報すべき」が46.5%などとなっている。

年代別にみると、「プロバイダやサイト管理者が規制を強化すべき」と答えた人の割合は、概ね年代が上がるほど高く、「使っている本人のモラル (マナー) を向上させるべき」と答えた人の割合は、30代から50代で低くなっている。

(年代別)

(%)



インターネット上で児童ポルノ画像等の違法情報が氾濫していることに対する有効な対策として、「プロバイダやサイト管理者が規制を強化すべき」と「インターネットカフェ等の匿名性の高いパソコンからの規制を強化すべき」がすべての年代で最も高い割合となっており、県民の方々がプロバイダやサイト管理者、インターネットカフェ等に対する現状の規制が十分ではないと認識していることがうかがわれます。

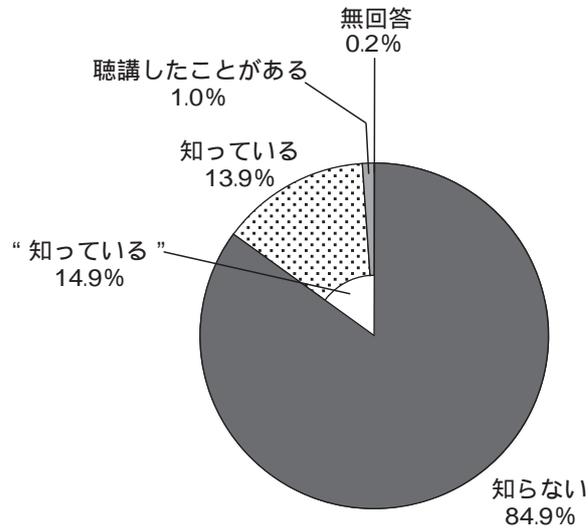
違法情報については愛知県インターネット・サービス・プロバイダ防犯連絡協議会（AISP）と連携を図りながら、プロバイダによる自主的削除の取組みを推進しています。また、インターネットカフェ等においては、利用者の匿名性を悪用するなどしたサイバー犯罪が敢行される懸念があることから、利用者の本人確認の実施や防犯カメラの設置等を促すなど、引き続き事業者による自主的対策を要請していきます。

(愛知県警察本部生活安全部生活安全総務課)

3 サイバー犯罪に対する警察等の取組等に関する認識について

問7 愛知県警察が各学校や県民の方などを対象として、インターネットの安全な利用について講話を行っていることを知っていますか。(回答は1つ)

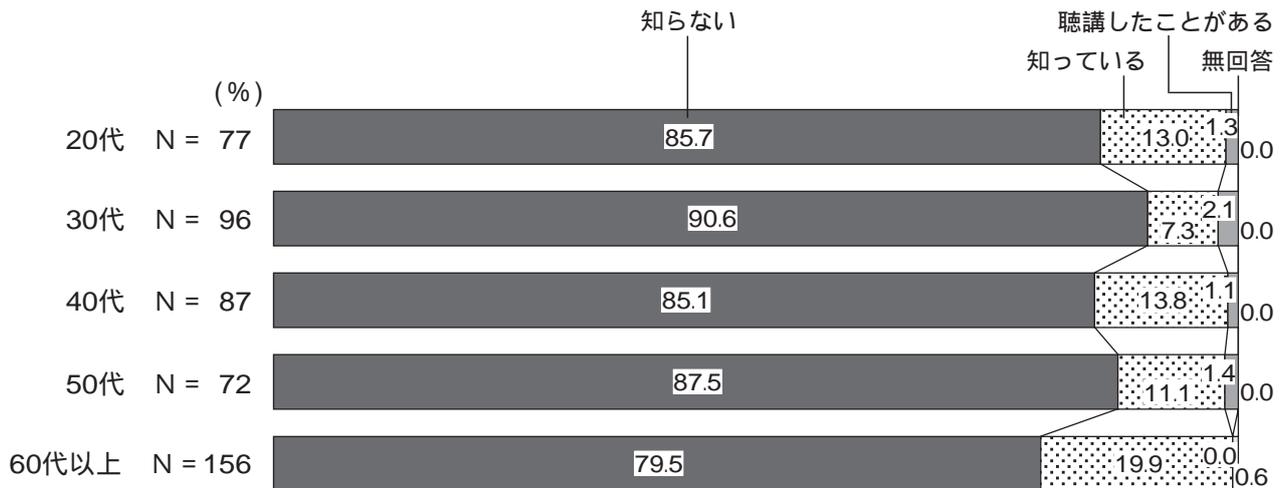
N = 488



愛知県警察が各学校や県民の方などを対象として、インターネットの安全な利用について講話を行っていることを知っているかを尋ねたところ、「知らない」が84.9%に対し、「知っている」が13.9%、「聴講したことがある」が1.0%で、合わせた“知っている”が14.9%となっている。

年代別でみると、“知っている”と答えた人の割合は、60代以上が最も高く、30代が最も低くなっている。

(年代別)



県内の各学校や県民の方などを対象として、インターネットの安全な利用についての「サイバー犯罪防止講話」を行っていますが、「知らない」方の割合が84.9%と高い状況でした。

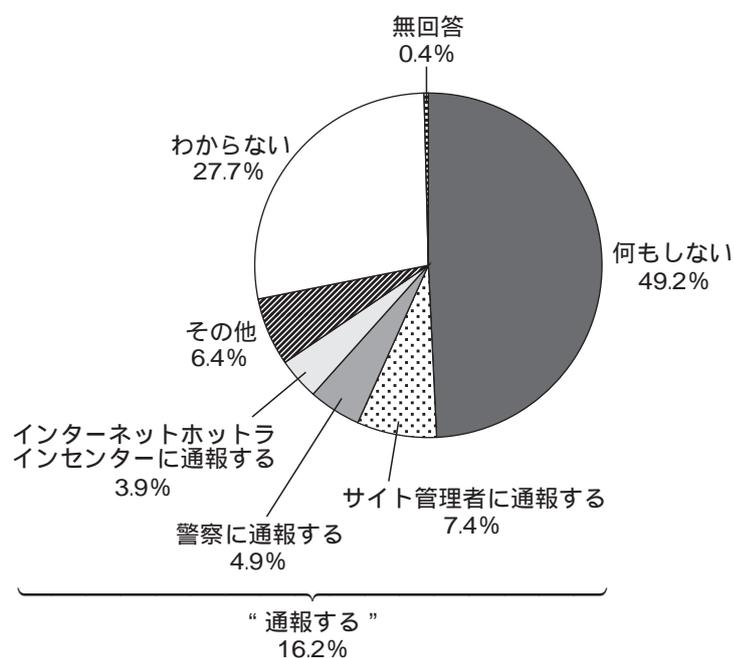
愛知県警察における「サイバー犯罪防止講話」は、平成22年中862回実施しているものの、アンケート結果からすると、十分に周知されていないことが伺えることから、今後も教育機関と連携しつつ児童やその保護者に対する教育や広報に取り組むとともに、愛知県警察のホームページにおいて積極的に広報を行うなど、県民の方々への周知を一層図っていきます。

(愛知県警察本部生活安全部生活安全総務課)

問8 インターネット上において違法・有害情報を見つけた場合、どのように対処していますか。

(回答は1つ)

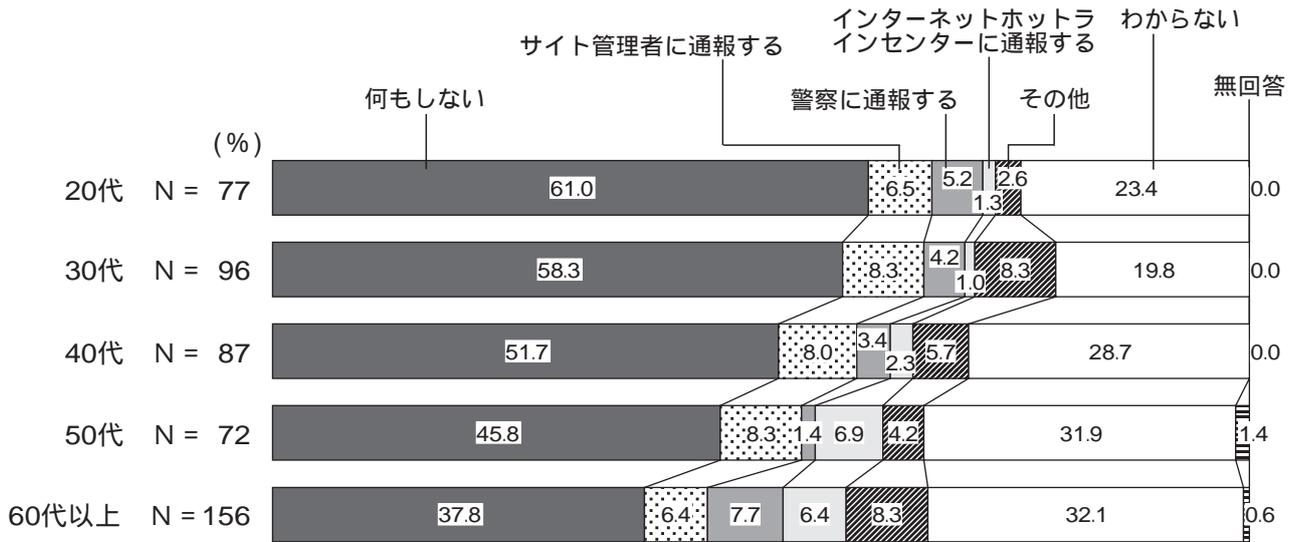
N = 488



インターネット上において違法・有害情報を見つけた場合、どのように対処しているかを尋ねたところ、「何もしない」が49.2%に対し、「サイト管理者に通報する」7.4%、「警察に通報する」4.9%、「インターネットホットラインセンターに通報する」3.9%で、合わせた“通報する”が16.2%となっている。

年代別にみると、「何もしない」と答えた人の割合は、若い年代ほど高くなっている。

(年代別)



インターネットにおいて違法・有害情報を見つけた場合、“通報する”と回答された方の割合が16.2%と低い状況です。

アンケート結果をふまえ、チラシやリーフレット、ホームページなどの広報媒体を活用して、違法・有害情報を見つけた場合には、インターネットホットラインセンターや警察窓口へ通報して頂くよう、更なる周知を図っていきます。

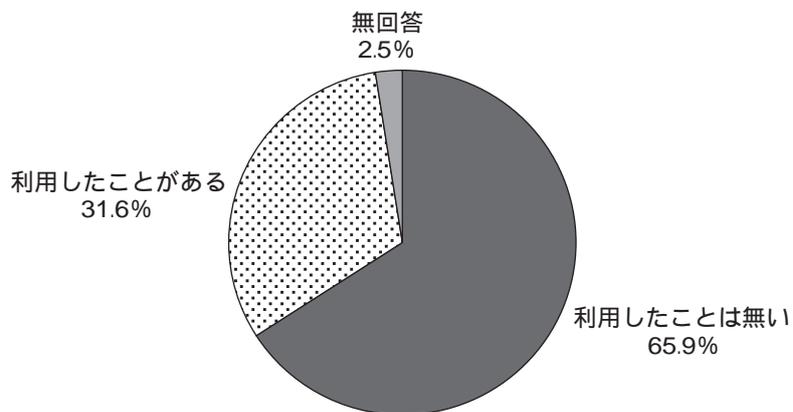
(愛知県警察本部生活安全部生活安全総務課)

4 県民のインターネットカフェ等に対する意識について

問9 インターネットカフェやマンガ喫茶からインターネットを利用したことがありますか。

(回答は1つ)

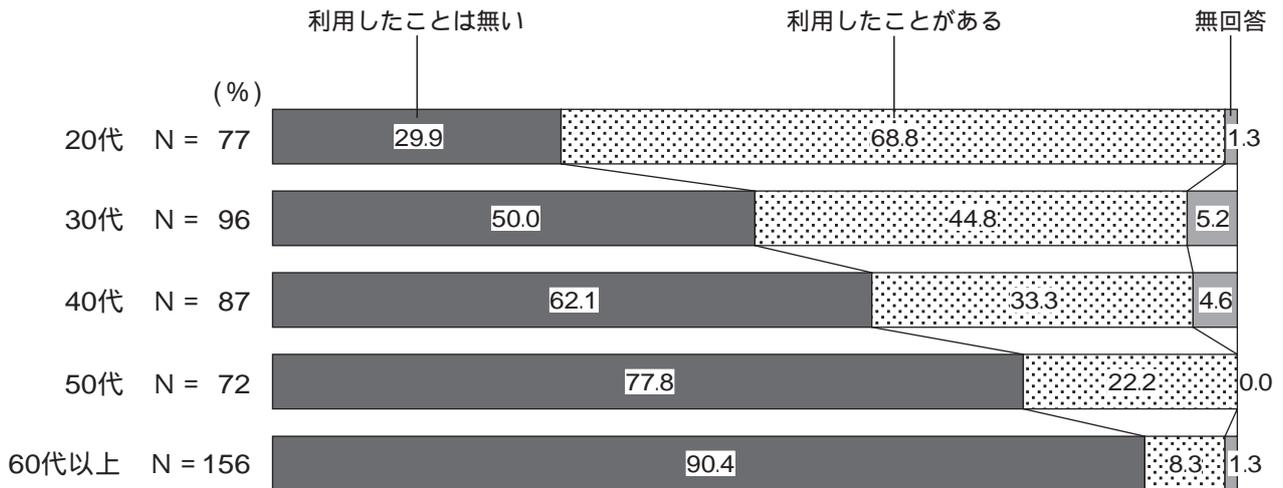
N = 488



インターネットカフェやマンガ喫茶からインターネットを利用したことがあるかを尋ねたところ、「利用したことは無い」が65.9%、「利用したことがある」が31.6%となっている。

年代別にみると、「利用したことは無い」と答えた人の割合は、年代が上がるほど高くなっている。

(年代別)



全体の31.6%の人がインターネットカフェ等を利用したことがあり、中でも20代では68.8%と高い利用率となっています。

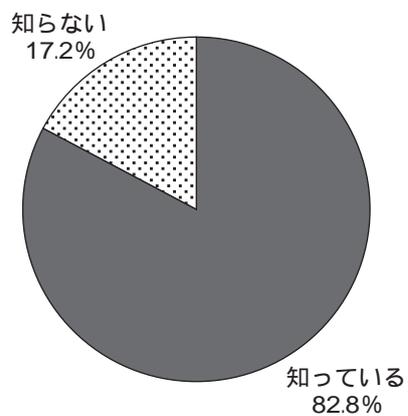
インターネットカフェ等においては、利用者の匿名性を悪用するなどしたサイバー犯罪が横行される懸念があることから、愛知県警察では、サイバー犯罪等の未然防止を図るため、利用者の本人確認の実施や防犯カメラの設置等を促すなど、引き続き事業者による自主的対策を要請していきます。

(愛知県警察本部生活安全部生活安全総務課)

問10 インターネットカフェやマンガ喫茶が犯罪に利用される場合があることを知っていますか。

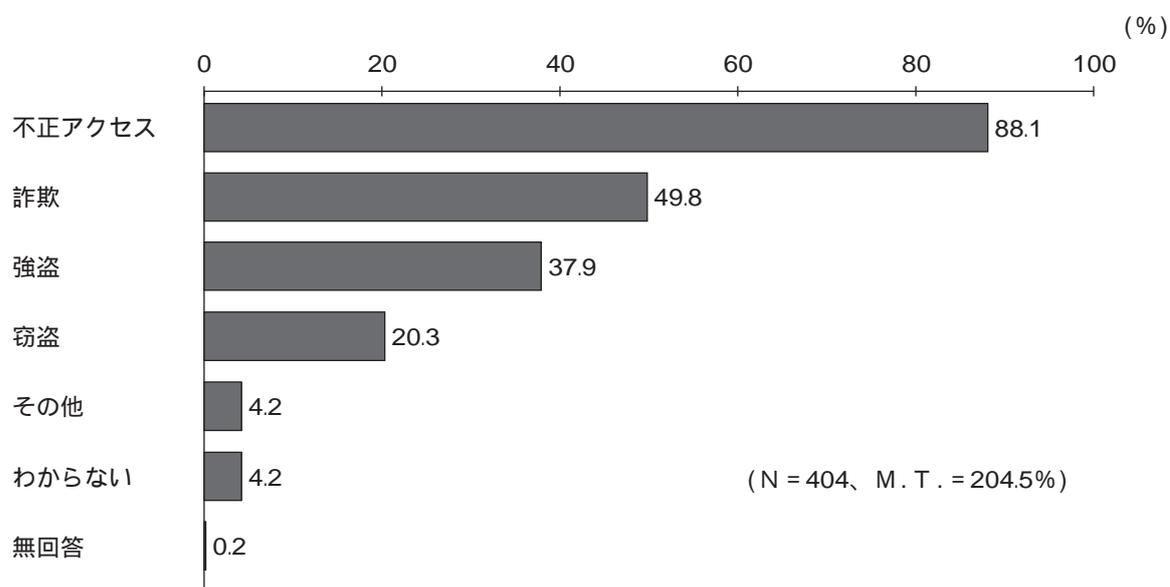
(回答は1つ)

N = 488



インターネットカフェやマンガ喫茶が犯罪に利用される場合があることを知っているかを尋ねたところ、「知っている」が82.8%、「知らない」が17.2%となっている。

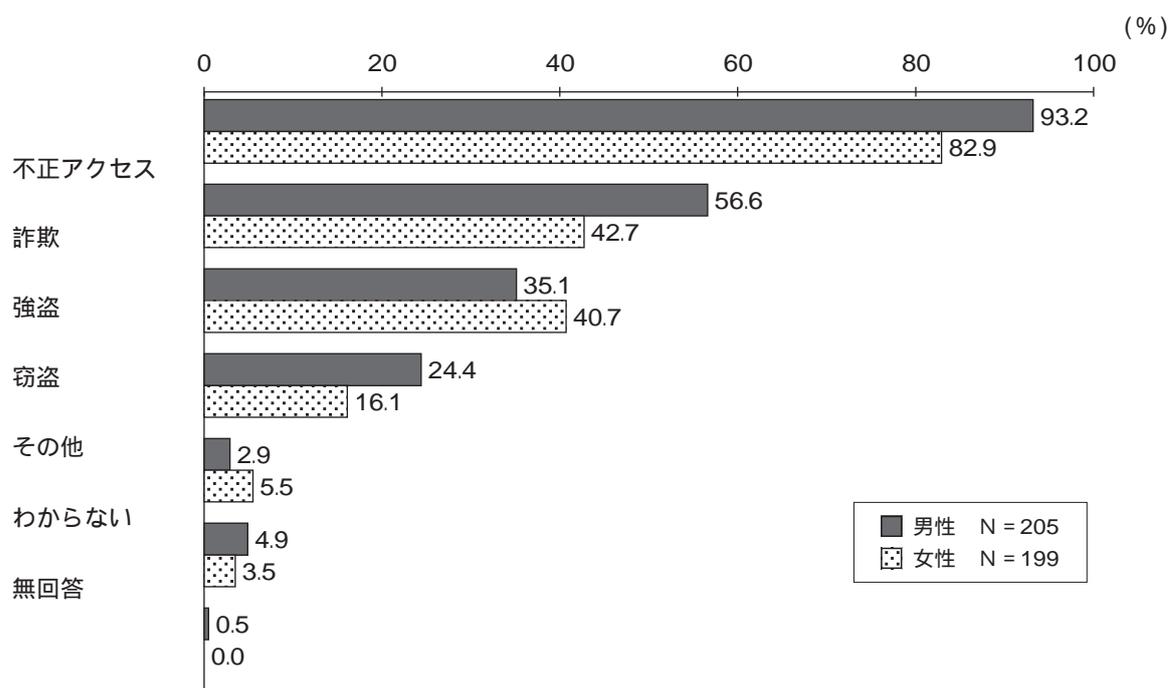
問11 問10で「知っている」と回答された方は、どのような犯罪に利用されているか知っていますか。(回答はいくつでも)



問10で「知っている」と回答された方に、どのような犯罪に利用されているか知っているかを尋ねたところ、「不正アクセス」88.1%、「詐欺」が49.8%、「強盗」が37.9%、「窃盗」が20.3%などとなっている。

男女別にみると、「強盗」と答えた人の割合は、女性が高かった一方、それ以外では男性の割合が高かった。

(男女別)



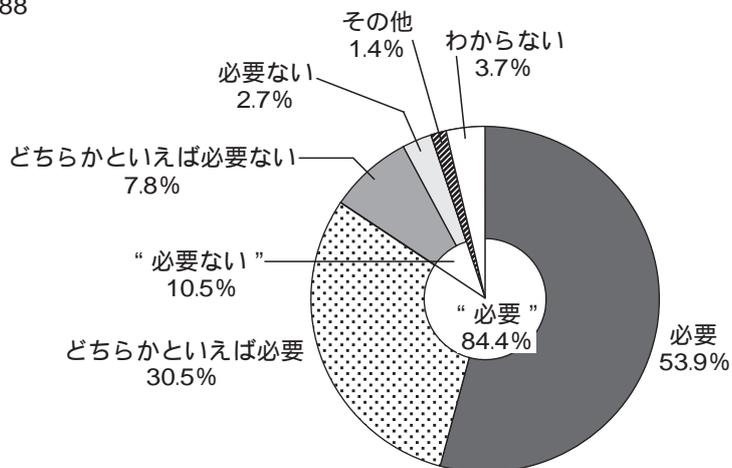
インターネットカフェ等において発生する犯罪については、不正アクセスやインターネットを利用した詐欺といったサイバー犯罪の他に、強盗や窃盗といったサイバー犯罪以外の犯罪についても認識されています。

今後さらにインターネットカフェ等の実態について調査を行い、インターネットカフェ等におけるサイバー犯罪等の未然防止を図るための対策を推進していきます。

(愛知県警察本部生活安全部生活安全総務課)

問12 インターネットカフェやマンガ喫茶での身分確認は必要だと思いますか。(回答は1つ)

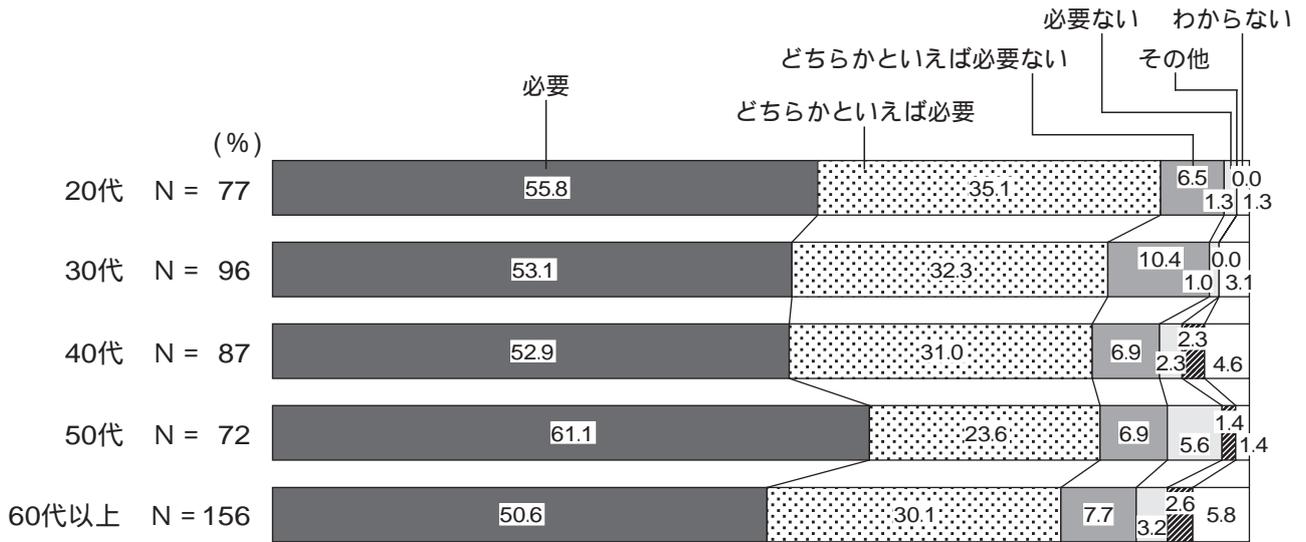
N = 488



インターネットカフェやマンガ喫茶での身分確認は必要だと思うかを尋ねたところ、「必要」53.9%、「どちらかといえば必要」30.5%で、合わせた“必要”が84.4%に対し、「どちらかといえば必要ない」7.8%、「必要ない」2.7%で、合わせた“必要ない”が10.5%となっている。

年代別にみると、“必要”と答えた人の割合は、概ね年代が上がるほど低くなっている。

(年代別)



インターネットカフェ等での身分確認は必要だと思うかを尋ねたところ、回答は、「必要」53.9%、「どちらかといえば必要」30.5%で、“必要”と回答された方の割合が84.4%と県民の方々がインターネットカフェ等において身分確認が必要と認識していることがわかります。

インターネットカフェ等においては、利用者の匿名性を悪用するなどしたサイバー犯罪が横行される懸念があることから、サイバー犯罪等の未然防止を図るため、利用者の本人確認の実施や防犯カメラの設置等を促すなど、引き続き事業者による自主的対策を要請していきます。

(愛知県警察本部生活安全部生活安全総務課)

5 自由意見

問13 インターネット利用に関してご意見があれば、ご自由に記述してください。

インターネット利用について、自由に意見を記入していただいたところ、405件の意見が寄せられた。それらを大別すると次表のとおりであり、以下、その意見の要旨をいくつか例示した。

項	目	件数
1 サイバー空間における規制強化について	(1) 匿名性を排除する	25
	(2) 厳罰化する	21
	(3) 法整備する	19
	(4) ネットカフェを規制する	16
	(5) 青少年に対し制限する	15
	(6) 有害サイトを規制する	12
	(7) その他	28
2	情報モラル・マナー等の指導教養について	97
3	情報モラル・マナー等の広報啓発について	36
4	サイバー犯罪に対する取締りの強化について	35
5	情報セキュリティ関連について	21
6	民間企業等の活用について	3
7	その他	77
	合計	405

1 サイバー空間における規制強化について

(1) 匿名性を排除する

インターネットは、情報伝達手段として非常に便利である。インターネット上の掲示板等へ書き込みをするときは、真に誰が書き込みしたかが判る仕組みであれば責任のある書き込みとなるので、一般の認識も変わるのではないかと思う。

インターネットの匿名性が犯罪の温床となっていると思われる。全てのサイトに責任者の住所・氏名を明記することを法で定めることもひとつの方法だと思う。

パソコンを利用する際に免許証等のIDカード認証をしたり、インターネット利用の際に指紋認証するように出来たら良いと思う。インターネット上の掲示板等に匿名で他人の個人情報を載せた

り、誹謗中傷、犯罪の呼びかけをするようなものは廃止すべきである。

米国の機密機関や大手企業へのサイバー攻撃等を鑑みるに、インターネット使用者は全て、氏名・住所・身分証明等を登録し、誰が使っているのかは追跡できるようにすべきだと考える。

(2) 厳罰化する

インターネット犯罪を抑制することは、今後の世の中の課題ですが、現状少しでも犯罪率を下げるならば、罪を重くする必要があると思う。軽い犯罪扱いに考えている者に対して、もっと厳しくすると良くなると思う。

サイバー犯罪は、自分の顔を見せることなく知識さえあれば容易にできる犯罪で、相手に多大な被害を与えることができる。この犯罪は最初から悪意を持って実行しているので、犯罪者には厳罰をもって償わせる事により、犯罪を起こそうとしている人への抑制・抑止力にすべきであると思う。そして、この犯罪は、未成年者であっても例外なく厳罰にすべきであると思う。

インターネット上の悪質な商法には、もっと厳格な罰則が必要である。見る人のモラル低下もありすぎる。

インターネットを利用した犯罪に対する罰則をもっと厳しくしても良いのではないか。児童ポルノなどは、その子供に一生消えない傷をつけてしまう訳なので、現在よりもっと重い罰則にすべきだと思う。

(3) 法整備する

インターネットは道具。道具を使うルールや規制を強化しなければ、今のような状況に陥るのは当たり前で法的規制もしかるべきと考える。利便性が高く、インターネットを無くすことは当然無理であるから。

サイト管理者が規制強化をしやすい環境を作り、違法情報に対して警察がもっと取締りやすい様に法律の強化と監視する機関が増えると良いと思う。

現在でもインターネット上における違法行為を取締る法律はあるが、実社会ほど充実していないように思う。最終的には、インターネット上も実社会と同じ、もしくは実社会以上に高度な法律で守られた世界になってほしいと思う。インターネットでは自由な部分も多くあると思うが、自由のみでは上手くいかない。

インターネット上では、掲示板等への書き込み者の身分等が全く分からないので、モラルがとても悪いと感じる。児童ポルノについては法律でもっと規制強化すべきだと思う。これから、日本を担っていく子供達が、健全、安全、安心して暮らすことができる社会づくりをしていかなければいけない。

私は高齢のためインターネットを利用したことがないが、テレビでそれに関する犯罪は見たことがある。犯罪が多発し、被害者が増加するならば、法律や条例を改正すべきと考える。

(4) ネットカフェを規制する

今やインターネットカフェはどこにでもあり、誰でも入りやすくなっている。個室では誰が何をやっているのか、何の目的で入ってきたのか全くわからない。個室等でインターネットが行える場所では、何をするのかを規制をしていくことが大事だと思う。

インターネットカフェ等では、身分確認等実施することで抑止効果は随分あるのではないか。また、経営者に対する指導教育等の啓発活動も必要と思われる。

匿名性が高いネットカフェからのアクセスは犯罪につながるが多いと思う。身分提示、監視カメラ等、犯罪を防ぐ対策を取って貰いたい。

インターネットカフェや漫画喫茶に行ったことがないので実態は判らない。しかし不正アクセスや犯罪の温床となっているようであれば一定の規制は必要と考える。アダルトサイトについても性描写に関して各国により規制の考え方が異なるので日本だけの対策は難しいと思う。

(5) 青少年に対し制限する

児童にインターネットを安易に利用させている親に責任があると思う。子守りがわりにインターネットでゲームをさせるべきではない。規制を作り、ルールを覚えられる年齢まで、外部とつながりを持つようなインターネットに児童が繋げないようにすべきである。

インターネットの利用に関して、特に未成年に対しては利用制限を設ける必要があると思う。成人以降は自己責任としてよいと思う。

現代は誰でも便利なインターネットを利用できる環境になった反面、子供達でも簡単に利用できるのは問題であると思う。未成年が利用する場合は規制をかけたほうが良いのかなと感じる。

インターネットを利用すれば、どんな事でも簡単に知ることができる。これは子供を持つ親にとっては、とても怖い事だと思っている。特に携帯を通じて子供がインターネット利用する場合、どのようなサイトを見ているか分からないからである。携帯を子供に買い与える時、子供が知らなくてもよい情報等は、検索できなくなる仕組みを是非利用したいと思う。

(6) 有害サイトを規制する

検閲までは必要ないが、犯罪性の強いサイトは即刻排除すべきだと思う。また、インターネット

ホットラインセンターや県民ボランティア等による違法・有害情報の通報先を広く広報すべきだと思う。

インターネットを利用して調べたりするのは、とても便利になったと思う。便利になった分、それを利用して悪いことをする方がいるので、それは、警察やサイト運営の方でしっかりと管理してほしいと思う。特に小学生低学年から携帯を持って、又、授業でもインターネットを利用していることから、有害サイトへ繋がる事がないよう、その規制はしっかりと欲したい。

一部の外国で実施しているように、検索する言葉に制限をかければ良いと思う。例えば出会い系サイト、闇サイトなど。

(7) その他

新聞報道で、インターネット上に、よくわいせつ画像をのせて逮捕されたとかあるが、被疑者の名前だけでなく、写真も載せて良いと思う。悪い事をしているのであるから、そのぐらいが妥当である。

現実の社会では、インターネットは必要であり大変便利な生活必需品であるが、便利になった分、誰でも利用出来るのでサイバー犯罪が後を経たない。不正アクセスを規制すべきだと思う。

インターネットを使う側もホームページやブログを作る側もあまりにも気楽に作成しすぎて情報が乱れている。人とのコミュニケーションが薄くなることを助けているかのようだ。これを制限、制約する方法を見出すことが重要な課題だと思う。

今回のアンケートの中で「インターネットホットラインセンター」があることを初めて知った。私自身、インターネットを利用した犯罪が増加している認識はある。警察など政府、自治体のルール強化も必要であると思うが、規制強化に成り過ぎてはいけないとの思いもある。

2 情報モラル・マナー等の指導教養について

学校教育で若年者のうちから徹底的に教育して、社会全体がインターネットを正しく活用することを根付かせる事が必要である。

現実社会において、インターネットは必要不可欠なツールとなっており、インターネット無しでは生活をするのに不便を感じると思う。この情報の溢れている中で必要なのは、利用する側の正しい知識と身を守る技術力ではないか。小学生からパソコンの授業があるが、技術的なことより、モラルやネットのマナー、また危険性にも十分に配慮した教育が必要と思う。

スマートフォンの普及増加により、これからもまだまだインターネットは可能性を秘めていると思う。そのような中、いくら政府や警察が躍起になったところで、犯罪者と取締る側とのいたちごっこになるだけだと思う。大切なのは、使う人のモラルの向上であって、良識をもってインターネッ

トを使うことではないかと考える。

インターネットの利用者の知識はかなりの格差があり、気付かないうちに犯罪に巻き込まれていることもあると思う。ベテラン者も初心者も同様に、モラルの向上、ネット社会の現状を知ることが必要だと思う。特に子供、初心者が必要だと思う。

3 情報モラル・マナー等の広報啓発について

インターネットを利用する側も、潜在する危険性を認識した上で、インターネットを利用すべきであると思う。メディア等でもパソコンの利便性ばかりを強調するのではなく、それに伴うリスク等も、より明確に示す必要があると思う。

私自身はあまりインターネットを活用していないが、闇サイトで自殺の仲間を見つけたり、殺人の犯罪グループが組織されているというニュースを見ると恐ろしくなる。インターネット上で起こる新しい犯罪や危険性について、政府や自治体による広報を続けて欲しい。

インターネットは仕事でもプライベートでもよく利用する。最近、インターネットを利用した犯罪が増えているということは聞く機会が増えたが、具体的にどのような犯罪が起こっているのか・犯罪に巻き込まれないためにどのようなことに注意しなければいけないのかを知らない人が多いと思う。行政機関を中心とした一般市民への呼びかけがもっと必要であると思う。

最近何かと、インターネットを媒体とした企業・公共団体の宣伝・告知が多いように思う。私自身は特に不便を感じていないが、情報通信弱者にとっては、社会に取り残されたと感じずにはいられないと思う。そのような方に対しても、適切な情報提供のあり方を模索する必要があると思う。

4 サイバー犯罪に対する取締りの強化について

インターネット犯罪は、今後も増加し国際化すると思われるため、警察の取締りを強化すべきであると思う。

親である私が、詳しい知識を持たずに利用しているため、今後、子どもが利用するようになった時が一番不安である。自分自身でトラブルから身を守らなくてはいけないとは思いますが、詳しい知識を持たずに利用している人のためにも、違法なサイトなどは厳しく取締って欲しいと思う。

児童ポルノについて、もっと厳しく取締るようにして欲しい。被害にあった子供が、トラウマを抱えながら成長していくのはあまりに酷である。

インターネットは、便利であるので毎日利用している。犯罪に利用している者は少数だと思っていたが、そうでないのであれば取締りを強化する必要があると考える。

世の中には、モラルに頼っていても改善が見込めない人達が常に存在すると思われるため、警察などの取締りの強化が必要だと思う。

5 情報セキュリティ関連について

知らない間に本人が犯罪やトラブルに巻き込まれるのが非常に怖いと感じる。インターネットが必要不可欠な時代、セキュリティがまだまだ遅れているように感じる。

インターネットは、どこにいても簡単に利用できるのもとても便利であるが、悪意をもって利用されることのないように、セキュリティはしっかりしておかなければいけないと思う。他人のせいにならず、自己責任で守れる範囲の事はすべきだと思う。インターネット関連事業者も管理を徹底すべきだと思う。

フィッシング詐欺のような犯罪は気をつけていれば防げると思うが、某企業の個人情報流出事件のようなハッカー集団によるサイバー攻撃となると個人のレベルでは防ぎきれない。インターネット利用者としては、せめて国や地方自治体のホームページなどは無条件に信頼をしているので、安心して利用できるようにしてもらいたい。

6 民間企業等の活用について

違法行為を監視する民間の仕組みを作る必要がある。

現代においてインターネットは、なくてはならない存在になっているので、規制をしようとしても、警察だけでは限界があるのではないかと思う。名古屋市内で起きた闇サイト殺人事件もそうだと思う。闇サイトを規制するには、民間技術者の力を生かした共同の監視部署が必要であると思う。

残念ながらモラルに訴えるのは限界だと思う。民間に一部駐車違反の取締りを委託したように、民間には優秀な人材がたくさん居ると思うので、業界団体に委託するののも一つの手段であると思う。

7 その他

インターネットは、自分の身分をふせて自由に意見を言うことができる場所であるが、自由には大きな責任が伴うということをおぼえていけば、過剰な発言が減ると思う。現実はやや難しいと思いますが。

私も遅ればせながらインターネットを利用している。何事もわからない事があればすぐに調べられ便利であるが怪しいサイトには接続していない。個人的にはネット販売はまだ信用出来なく利用していないが、安全で安心して利用出来るようになれば、もっと便利なものになると思う。

インターネットは、犯罪の要因になるなどの悪い面もあるが、テレビ等で報道されない情報を知ることができるので、「インターネット＝犯罪が多い」だから悪なんだという先入観は持つべきではないと思う。

通信販売で利用することがあるが、危険性と利便性がある。自己責任において安全だと判断できるところを利用している。

パソコンや携帯電話を持っていない人は、ほとんどインターネットを利用していないので、重要情報をインターネットに頼る方向にある社会に不安を覚える。昔ながらのアナログ的な情報伝達手段も残して欲しい。

自分自身が限定されたサイトしか見ないので、犯罪とかに巻き込まれた事は無いが、いつ巻き込まれるかもしれないという危惧はある。

質問と回答 (単位...「総数」：人、「総数」以外：%、四捨五入により合計は必ずしも100%にならない)

1 県民のインターネット利用実態等に関して

問1 パソコンや携帯電話からインターネットに接続する時間は、1日平均どれくらいですか。

(回答は1つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	488	244	244	152	208	128	77	96	87	72	156
1 30分未満	22.5	20.5	24.6	21.1	23.1	23.4	16.9	19.8	20.7	31.9	23.7
2 30分～1時間未満	26.8	25.4	28.3	30.9	26.4	22.7	27.3	33.3	26.4	22.2	25.0
3 1時間以上	37.3	43.0	31.6	42.8	33.2	37.5	55.8	42.7	40.2	36.1	23.7
4 利用しない	11.3	8.2	14.3	3.9	14.4	14.8	0.0	4.2	6.9	8.3	25.0
無回答	2.0	2.9	1.2	1.3	2.9	1.6	0.0	0.0	5.7	1.4	2.6

問2 これまでに、あなたやあなたの家族、友人等が、インターネットを利用した犯罪やトラブルに巻き込まれたことはありますか。(回答は1つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	488	244	244	152	208	128	77	96	87	72	156
1 自分自身が巻き込まれたことがある	9.0	11.1	7.0	9.9	8.2	9.4	9.1	11.5	16.1	0.0	7.7
2 家族や友人が巻き込まれたことがある	9.4	4.9	13.9	7.2	10.6	10.2	14.3	12.5	6.9	13.9	4.5
3 自分自身や家族等いずれも巻き込まれたことがある	1.6	2.0	1.2	2.0	1.4	1.6	0.0	1.0	2.3	2.8	1.9
4 巻き込まれたことは無い	74.6	76.2	73.0	78.3	75.5	68.8	72.7	72.9	67.8	75.0	80.1
5 わからない	4.9	4.9	4.9	2.6	3.8	9.4	3.9	2.1	5.7	8.3	5.1
無回答	0.4	0.8	0.0	0.0	0.5	0.8	0.0	0.0	1.1	0.0	0.6

問3 インターネットを利用した犯罪の被害に遭わないためにはどのような対策をとっていますか。

(回答はいくつでも)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	488	244	244	152	208	128	77	96	87	72	156
1 ウィルス対策ソフトを利用(更新)している	66.8	69.3	64.3	73.0	63.5	64.8	58.4	68.8	77.0	77.8	59.0
2 常にプログラムを最新の状態にしている	30.3	38.9	21.7	40.1	25.0	27.3	35.1	27.1	29.9	30.6	30.1
3 フィルタリングソフトを利用してる	11.3	9.4	13.1	12.5	10.6	10.9	6.5	12.5	14.9	15.3	9.0
4 怪しいサイトには接続しない	81.1	79.9	82.4	88.2	76.9	79.7	77.9	86.5	85.1	77.8	78.8
5 インターネットに詳しい人に相談している	12.3	12.7	11.9	13.2	13.9	8.6	7.8	13.5	8.0	11.1	16.7
6 その他	5.1	5.7	4.5	5.3	4.3	6.3	6.5	4.2	3.4	6.9	5.1
7 特に対策はとっていない	9.6	9.8	9.4	5.9	10.1	13.3	14.3	11.5	4.6	9.7	9.0
8 わからない	3.5	2.0	4.9	2.6	4.8	2.3	1.3	1.0	1.1	1.4	8.3
無回答	0.6	0.4	0.8	0.0	1.0	0.8	0.0	0.0	0.0	1.4	1.3

2 県民のサイバー犯罪に対する意識について

問4 インターネットを利用した犯罪は、年々増えていると思いますか。(回答は1つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	488	244	244	152	208	128	77	96	87	72	156
1 増えていると思う	90.4	88.1	92.6	88.2	90.9	92.2	88.3	86.5	95.4	95.8	88.5
2 変わらないと思う	4.9	5.7	4.1	7.2	4.8	2.3	10.4	5.2	1.1	2.8	5.1
3 減っていると思う	0.2	0.4	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
4 わからない	4.5	5.7	3.3	4.6	3.8	5.5	1.3	7.3	3.4	1.4	6.4
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問5 インターネットへの書き込み等の利用者のモラル（マナー）は現実社会と比べて、どのように感じますか。（回答は1つ）

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	488	244	244	152	208	128	77	96	87	72	156
1 良い	0.2	0.4	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6
2 どちらかといえば良い	2.9	2.5	3.3	3.3	2.9	2.3	0.0	2.1	4.6	0.0	5.1
3 変わらない	12.5	14.3	10.7	15.1	13.9	7.0	11.7	13.5	8.0	15.3	13.5
4 どちらかといえば悪い	43.6	43.4	43.9	41.4	45.2	43.8	29.9	47.9	48.3	43.1	45.5
5 悪い	30.1	30.7	29.5	33.6	26.0	32.8	51.9	33.3	32.2	29.2	16.7
6 わからない	10.2	7.8	12.7	6.6	11.5	12.5	6.5	3.1	6.9	11.1	17.9
無回答	0.4	0.8	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	1.4	0.6

問6 インターネット上で児童ポルノ画像等の違法情報が氾濫していると言われていますが、その有効な対策は何だと思えますか。（回答はいくつでも）

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	488	244	244	152	208	128	77	96	87	72	156
1 政府、自治体、警察等の官庁が危険性を広報すべき	46.5	48.4	44.7	43.4	51.0	43.0	41.6	45.8	46.0	38.9	53.2
2 プロバイダやサイト管理者が規制を強化すべき	77.9	73.0	82.8	73.7	78.8	81.3	63.6	75.0	85.1	84.7	79.5
3 インターネットカフェ等の匿名性の高いパソコンからの規制を強化すべき	63.1	58.6	67.6	61.8	60.6	68.8	54.5	63.5	60.9	65.3	67.3
4 警察が取締りを強化すべき	52.7	52.0	53.3	53.3	53.4	50.8	53.2	60.4	60.9	44.4	46.8
5 使っている本人のモラル（マナー）を向上させるべき	46.1	46.7	45.5	44.7	46.6	46.9	46.8	41.7	42.5	38.9	53.8
6 その他	3.1	3.7	2.5	4.6	2.4	2.3	5.2	3.1	0.0	5.6	2.6
7 わからない	1.2	1.6	0.8	0.7	1.4	1.6	1.3	0.0	0.0	2.8	1.9
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

3 サイバー犯罪に対する警察等の取組等に関する認識について

問7 愛知県警察が各学校や県民の方などを対象として、インターネットの安全な利用について講話を行っていることを知っていますか。(回答は1つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	488	244	244	152	208	128	77	96	87	72	156
1 知っている	13.9	13.9	13.9	16.4	13.0	12.5	13.0	7.3	13.8	11.1	19.9
2 聴講したことがある	1.0	1.6	0.4	0.0	1.9	0.8	1.3	2.1	1.1	1.4	0.0
3 知らない	84.8	84.4	85.2	82.9	85.1	86.7	85.7	90.6	85.1	87.5	79.5
無回答	0.2	0.0	0.4	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6

問8 インターネット上において違法・有害情報を見つけた場合、どのように対処していますか。

(回答は1つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	488	244	244	152	208	128	77	96	87	72	156
1 何もしない	49.2	56.6	41.8	51.3	48.6	47.7	61.0	58.3	51.7	45.8	37.8
2 サイト管理者に通報する	7.4	9.4	5.3	9.9	6.7	5.5	6.5	8.3	8.0	8.3	6.4
3 警察に通報する	4.9	6.6	3.3	2.0	6.3	6.3	5.2	4.2	3.4	1.4	7.7
4 インターネットホットラインセンターに通報する	3.9	2.9	4.9	4.6	4.3	2.3	1.3	1.0	2.3	6.9	6.4
5 その他	6.4	4.1	8.6	5.9	5.8	7.8	2.6	8.3	5.7	4.2	8.3
6 わからない	27.7	20.1	35.2	25.7	27.9	29.7	23.4	19.8	28.7	31.9	32.1
無回答	0.4	0.4	0.4	0.0	0.5	0.8	0.0	0.0	0.0	1.4	0.6

4 県民のインターネットカフェ等に対する意識について

問9 インターネットカフェやマンガ喫茶からインターネットを利用したことがありますか。

(回答は1つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	488	244	244	152	208	128	77	96	87	72	156
1 利用したことがある	31.6	34.8	28.3	32.2	30.3	32.8	68.8	44.8	33.3	22.2	8.3
2 利用したことは無い	66.0	62.3	69.7	64.5	67.3	65.6	29.9	50.0	62.1	77.8	90.4
無回答	2.5	2.9	2.0	3.3	2.4	1.6	1.3	5.2	4.6	0.0	1.3

問10 インターネットカフェやマンガ喫茶が犯罪に利用される場合があることを知っていますか。

(回答は1つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	488	244	244	152	208	128	77	96	87	72	156
1 知っている	82.8	84.0	81.6	86.8	84.1	75.8	80.5	88.5	83.9	76.4	82.7
2 知らない	17.2	16.0	18.4	13.2	15.9	24.2	19.5	11.5	16.1	23.6	17.3
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問11 問10で「知っている」と回答された方は、どのような犯罪に利用されているか知っていますか。

(回答はいくつでも)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	404	205	199	132	175	97	62	85	73	55	129
1 不正アクセス 店舗にあるインターネット 端末を利用し、他人の ID・パスワードを無断で 入力し不正な行為を行う等	88.1	93.2	82.9	87.9	88.6	87.6	87.1	85.9	87.7	92.7	73.1
2 詐欺 店舗で無銭飲食を行ったり、 インターネットオーク ションで金品を騙し取る等	49.8	56.6	42.7	47.7	49.7	52.6	38.7	40.0	49.3	45.5	52.6
3 窃盗 店舗の駐車場に止めてあっ た車からカバンを盗む等	20.3	24.4	16.1	21.2	21.1	17.5	24.2	23.5	16.4	20.0	15.4
4 強盗 店舗利用者からサイフや カバンを盗んだり、闇サイ トで知り合った仲間で強盗 をする等	37.9	35.1	40.7	36.4	34.3	46.4	40.3	42.4	32.9	40.0	29.5
5 その他	4.2	2.9	5.5	5.3	4.0	3.1	4.8	8.2	4.1	3.6	1.3
6 わからない	4.2	4.9	3.5	4.5	4.6	3.1	4.8	3.5	4.1	3.6	3.8
無回答	0.2	0.5	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6

問12 インターネットカフェやマンガ喫茶での身分確認は必要だと思いますか。(回答は1つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代 以上
総数	488	244	244	152	208	128	77	96	87	72	156
1 必要	53.9	53.7	54.1	52.0	53.8	56.3	55.8	53.1	52.9	61.1	50.6
2 どちらかといえば必要	30.5	28.3	32.8	26.3	33.7	30.5	35.1	32.3	31.0	23.6	30.1
3 どちらかといえば必要ない	7.8	10.2	5.3	11.2	5.8	7.0	6.5	10.4	6.9	6.9	7.7
4 必要ない	2.7	4.1	1.2	3.3	3.4	0.8	1.3	1.0	2.3	5.6	3.2
5 その他	1.4	0.8	2.0	2.0	1.0	1.6	0.0	0.0	2.3	1.4	2.6
6 わからない	3.7	2.9	4.5	5.3	2.4	3.9	1.3	3.1	4.6	1.4	5.8
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

平成23年度第2回県政モニターアンケート報告書

「インターネット利用に関して」
平成23年10月発行
愛知県知事政策局広報広聴課
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話(052)954-6169(ダイヤルイン)

この冊子は、再生紙を使用しています。

